



首都圏 青年 ユニオン

首都圏青年ユニオンを支える会について

近年、ユニオンは牛井「すき家」の残業代未払い問題や、ネットカフェ難民の調査などでマスコミに多く取り上げられ、若者の間でも有名になっています。支える会では首都圏青年ユニオンの運動を財政的にも援助し、青年全般の労働運動を支える社会運動として多くの方々に参加を呼びかけています。

支える会で集めた支援金は首都圏青年ユニオンの活動費と専従者の給与になります。これまでに2名の専従者を配置していましたが、よりいっそう運動を繰り広げるために専従者4名の配置を目指しています。

支える会会員の特典

- ・首都圏青年ユニオンのニュースレターが毎月届きます！
- ・支える会会員用のメーリングリストに参加できます！
- ・首都圏青年ユニオンとの交流会があります。



①支える会会員の登録方法

支える会ホームページを参照していただき、メールしていただくか、お電話でご連絡ください。支える会事務局の方から「支える会入会申し込みセット」をお送りします。

②支える会会費のお支払い方法

1口500円を毎月「郵便引落」もしくは年会費として6000円を「郵便振込」となります。支える会会期は2011年6月末を期限としております。原則4年間の会員登録をお願いしております。また、2口以上の会費も大歓迎しております。

共同代表の呼びかけ

若者の未来に強い関心をよせておられる中学・高校教員、大学教員の皆さん、支える会の会員となり、教え子がすぐにも直面するであろう労働トラブルへの「保険」を、彼らの代わりにかけてやって下さい。ベテランの労働組合活動家の皆さん、若い労働運動家がたくさん育つよう、また、新しい労働市場に対応した運動スタイルや組織形態が発展できるよう、ご援助をお願いします。多くの分野の社会運動家、ジャーナリスト、弁護士の皆さん、労働組合の存在そのものが危機にさらされていると考えていただきたいと思います。労働組合を社会運動が支援しなければならない現状であることをご理解下さい。「首都圏青年ユニオン」が数年間で数千名の組合へと成長し、職種別、産業別部会を組織しながら、既存の組合と新たな労働市場に適應できる連携体制をつくりあげていくことができれば、全国の労働組合運動に大きな希望をあたえることができるでしょう。



- ・首都圏青年ユニオンを支える会共同代表
後藤道夫(都留文化大学)
後藤眞生(久留米高校元教諭)
笹山尚人(弁護士)

・支える会呼びかけ人

浅見和彦(専修大)、池享(一橋大)、伊香俊哉(都留文科大)、石井まこと(大分大)、石田嘉幸(下町ユニオン)、乾彰夫(都立大)、内山哲朗(専修大)、大門正克(横浜国立大)、大串潤児(信州大)、太田政男(大東文化大)、大能清子(豊島高校)大平聡(宮城学院女子大)、大森一輝(都留文科大)、岡田知弘(京都大)、鬼丸朋子(桜美林大)、小野沢あかね(立教大)、柏原誠(大阪経済大)、加藤良雄(南多摩高校)、唐鎌直義(専修大)、川手圭一(東京学芸大)、川西玲子(自治労連関連協議会)、木下武男(昭和女子大)、小島昌夫(教育科学研究会)、小部正治(弁護士)、坂本修(弁護士)、坂元忠芳(都立大名誉教授)、佐々木享(名古屋大名誉教授)、佐藤隆(都留文科大)、佐藤洋作(文化学習協同ネットワーク)、城塚健之(弁護士)、進藤兵(名古屋大)、菅間正道(自由の森学園)、杉浦孝雄(小平西高校)、鈴木文熹(南信州地域問題研究所)、須藤敏昭(大東文化大)、関口昌秀(神奈川大)、高岡裕之(都留文科大)、高橋祐吉(専修大)、高柳新(全日本民医連)、武居秀樹(都留文科大)、竹内常一(國學院大學)、田中秀幸(元日立争議団)、谷崎嘉治(青森中央高校)、永江雅和(専修大)、永瀬登(東京地評)、中西新太郎(横浜市立大)、西谷泰実(正智深谷高校)、二宮厚美(神戸大)、野島通紀(神奈川私教連)、野々垣務(埼玉教育文化研究所)、平田啓(農業・農協問題研究所)、兵頭淳史(専修大)、藤岡貞彦(一橋大名誉教授)、堀尾輝久(東大名誉教授)、松丸和夫(中央大)、三浦久美子(草土文化社)、宮田雅己(生田高校)、森武磨(一橋大)、八坂玄功(弁護士)、柳沢遊(慶応大)、吉崎祥司(北海道教育大)、吉田千秋(岐阜大)、鷲谷徹(中央大)、渡辺治(一橋大)、渡辺憲正(関東学院大)、綿貫公平(調布第五中学)、山科三郎(哲学者)